

平成 27 年 2 月 24 日

各 位

上場会社名 ナノキャリア株式会社
 代表者 代表取締役社長中富 一郎
 (コード番号 4571)
 問合せ先責任者 CFO 兼社長室長 松山 哲人
 (TEL 04-7197-7622)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 11 月 11 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

平成 27 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	560	△1,428	△1,029	△1,070	△26.57
今回修正予想 (B)	673	△1,127	△285	△322	△8.00
増減額 (B-A)	113	301	744	748	
増減率 (%)	20.2	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	472	△1,123	△1,094	△1,113	△30.44

(注) 当社は、平成 26 年 2 月 12 日に公表いたしました「株式分割、単元株制度の採用及び定款の一部変更に関するお知らせ」のとおり、平成 26 年 4 月 1 日を効力発生日として普通株式 1 株につき 100 株の割合をもって分割を行っております。そのため、前期実績における 1 株当たり当期純利益につきましては、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

修正の理由

売上高につきましては、契約一時金収入の増加及び化粧品原料の売上の増加が見込まれること等の要因により、前回発表の業績予想を上回る見込みです。

また、開発パイプラインの臨床試験並びに ADCM (Antibody/Drug-Conjugated Micelle) をはじめとする次世代型医薬品の研究開発は予定通り進捗しておりますが、研究開発費用並びに販売費及び一般管理費につきましては、臨床開発費用や移転関連費用などを保守的に見積もっていたため、実際の支出額は当初想定額を下回る見込みとなり、また売上高の増加等による売上総利益の増加と相まって、営業損失は前回発表の業績予想より改善する見込みです。

また、期初以降の外国為替相場 (米ドル) の変動による主に外貨建て預金の評価替えにより、為替差益を営業外収益として計上することを見込んでおります。前回発表時の前提となる為替レートは、1 米

ドル 110 円を想定しておりましたが、最近の為替相場の動向を踏まえ、想定レートを 1 米ドル 118 円へ変更した結果、経常損失及び当期純損失も前回発表の業績予想より改善する見込みです。

(注) 業績予想については、現時点での入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、予想には不確定要素が内在しているため、今後の様々な要因により、上記業績予想数値が変更される場合があります。

以 上